

東京湾海況情報 13 - 02

貧酸素水塊動向調査(4月23日分)

平成13年4月25日
千葉県水産研究センター 富津研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

資料：水質観測(4/23 東京内湾：わかふさ)
ふさなみ観測資料，一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

貧酸素水塊動向調査結果(4月23日分)

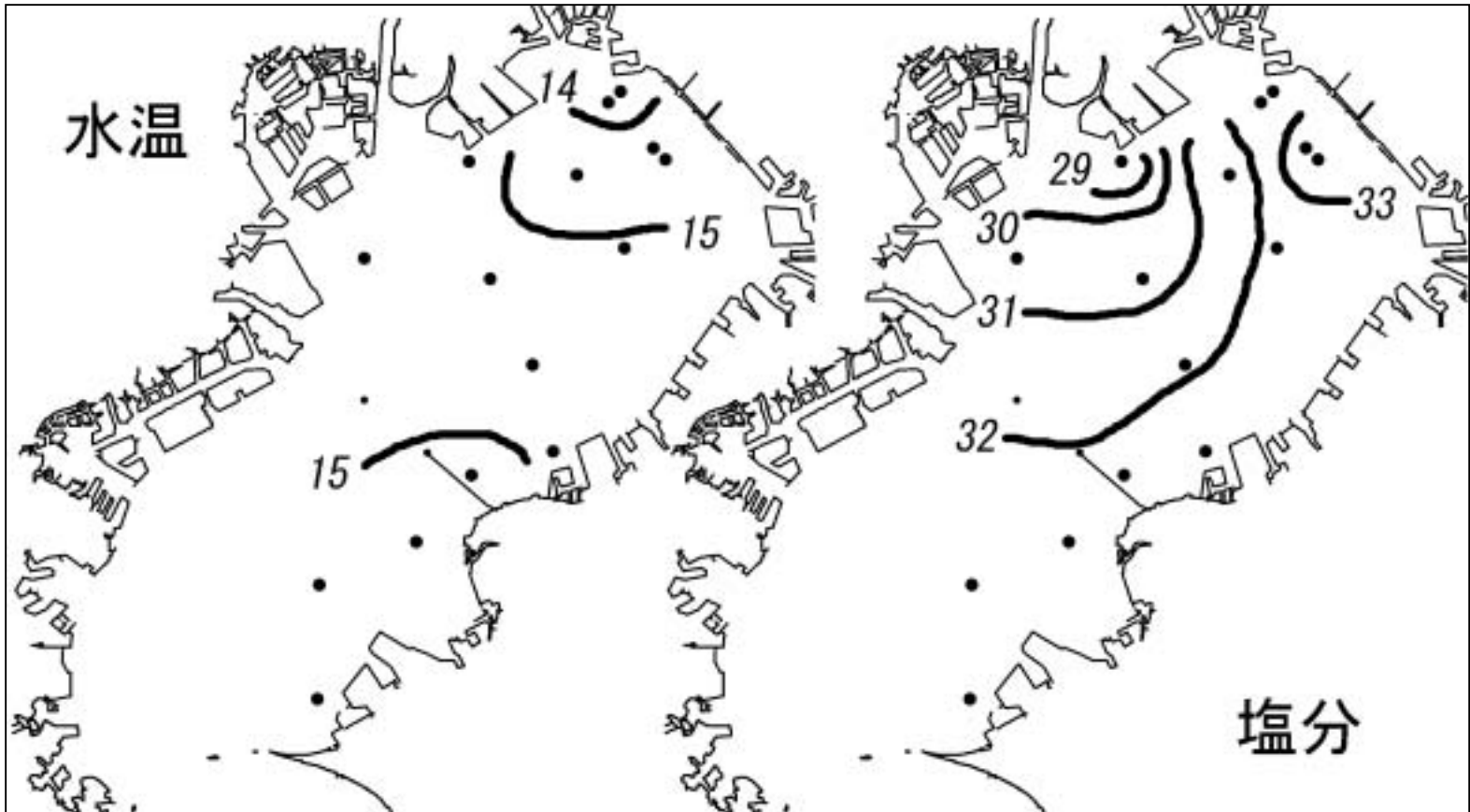


図1 表層の水温・塩分分布

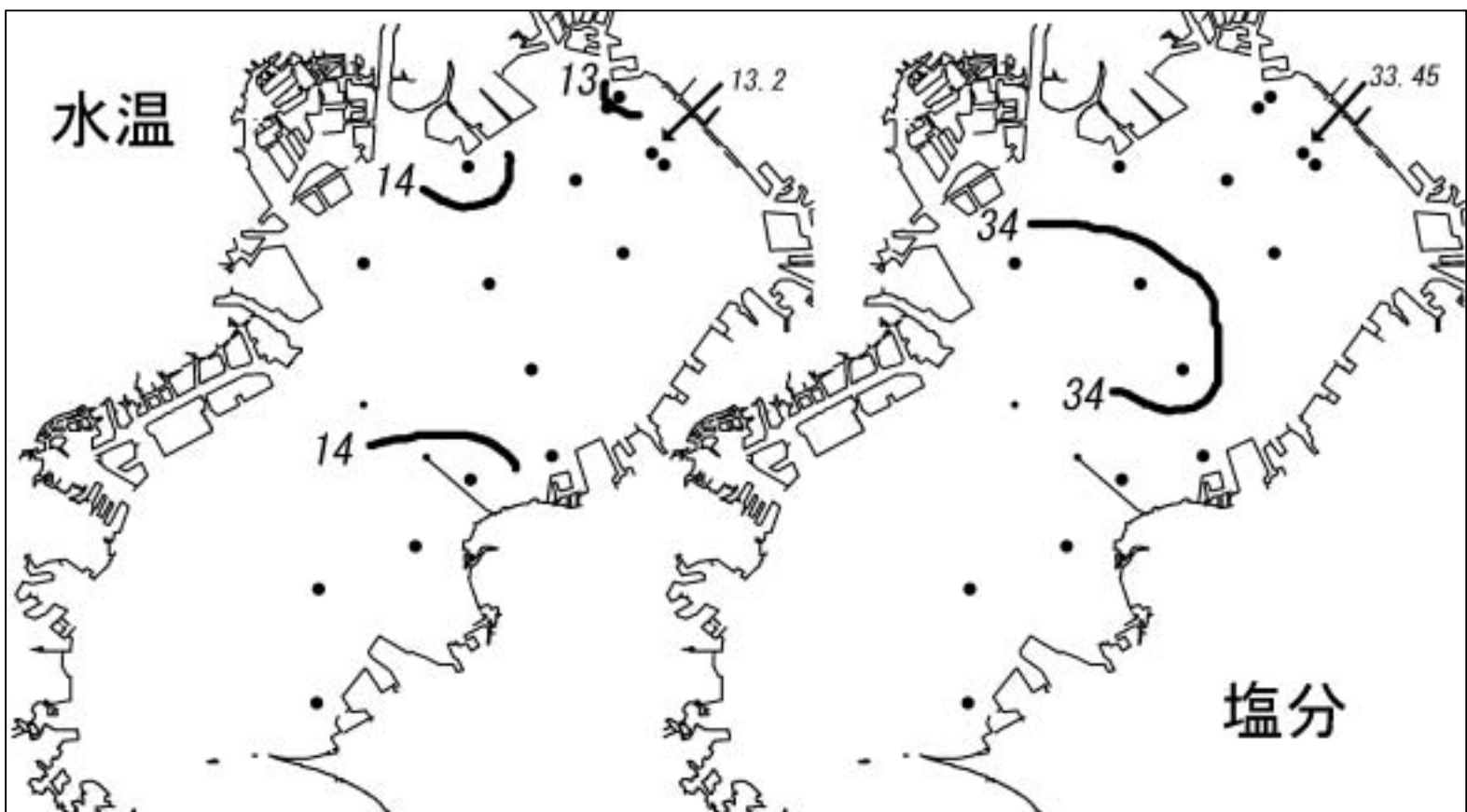


図2 底層の水温・塩分分布(矢印の数値はst.5 1浚渫くぼ地の観測値)

水温・塩分の状況 (図1～2, 表1)

表層の水温は13～15℃, 塩分は28～33でした。内湾中央部(st.54, 3, 52)の底層で塩分34の高塩分水が観測されました。前回(4月10日)の観測では内湾にはこのような高塩分水は確認されていません。今回st.6はデータエラーのため内湾縦断面の鉛直分布は表示しません。

赤潮の状況 (図3, 表1)

今回の調査でも赤潮基準(千葉県赤潮の目安...色: オリーブ～褐色, 溶存酸素の飽和度: 150%以上, 透明度: 1.5m以下, pH: 8.5以上, クロロフィルa量: 50 µg/L以上)には達した海域はありませんでした。

内湾中央部以南で夜光虫(ノクチルカ *Noctiluca scintillas*)が増加してきています。今後夜光虫による赤潮がみられるかもしれません。そのほかには珪藻類のリゾソレリア(*Rhizosolenia fragilissima*)が増加していました。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は2～26 µg/Lと低めです。

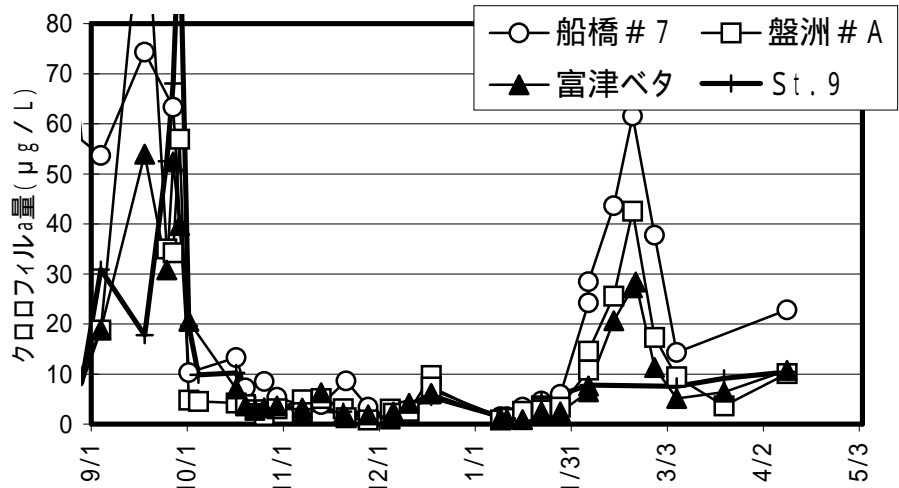


図3 クロロフィルa量の変化

貧酸素水塊の状況 (図4, 5, 表1)

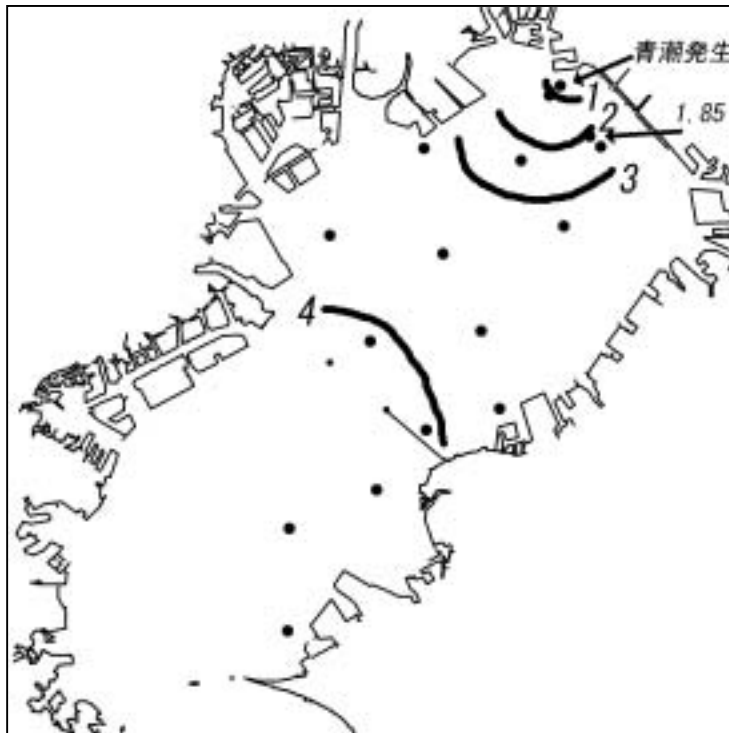


図4 底層の溶存酸素量分布 (ml/L)

(矢印のst. 51は浚渫跡地で周囲より20m程掘り下げられている場所で、特に貧酸素化しやすいため、この図のコンタラインには表現していません)

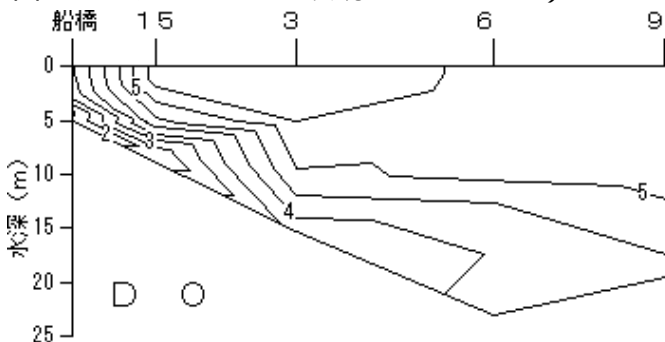


図5 DOの鉛直分布 (ml/L)

st. 6の観測値が底層のみしか得られませんでしたのでその周辺の分布には多少の誤差が想定されます。

観測当日(4月23日)に湾奥部の船橋航路付近で青潮が確認されました。

底層の溶存酸素量分布をみると湾奥部2ml/L以下の貧酸素水が分布しています。

内湾の鉛直分布でも船橋付近で貧酸素水が確認できます。

水試では2.5ml/L(酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

表1. 水質調査結果(表層)

調査日: 4月23日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量	DO(底層: ml/L)
船橋	2.5	14.0	32.46	8.1	9.3	1.5
St. 15	3.2	14.9	31.66	8.5	9.4	2.1
st. 3	4.0	15.0	30.75	8.5	11.2	3.7
St. 6	4.5				5.3	4.1
St. 9	6.0	14.8	32.03	8.4	2.3	4.3
盤洲Cブイ	3.5	15.0	32.23	8.4	4.2	3.5
盤洲Bブイ	3.8	14.8	32.03	8.4	3.8	4.2
St. 8 (盤洲Aブ)	4.0	14.9	32.14	8.5	4.6	4.2
富津ベタ	4.0	14.3	32.62	8.1	5.7	4.7

東京湾情報ボックス

・ 4 / 23 船橋航路周辺で青潮発生

情報は 水産研究センター富津研究所
漁場環境研究室までお願いします

0439-65-3071 FAX 0439-65-3072 Eメール
cbfb@tokyo-bay.ne.jp